

2011年4月1日

2011年度入社式社長挨拶

日本興亜損害保険株式会社 取締役社長 兵頭 誠

4月1日に開催する2011年度入社式における、「社長挨拶」を下記の通りご案内致します。

【要旨】

- ・先月に発生した未曾有の大規模地震の被害に遭われた皆様、ならびに、そのご家族・ご親族・ご友人の皆様に、心よりお見舞い申し上げます。
- ・当社は、災害対策本部を設置し、コールセンターの増員、被災地への社員派遣等により、事故受付や保険に関するご相談を通じて、一日も早い復興に向けた支援活動を続けている。
- ・NKSJグループが目指しているのは、「徹底したお客さま視点ですべての価値判断を行い、お客さまに最高品質の安心とサービスを提供し、社会に貢献するソリューション・サービスグループ」となること。
- ・当社と損害保険ジャパン社は、「1プラットフォーム・2ブランド」のビジネスモデルのもと、この1年間で様々な分野で連携し、システムや事務などの標準化・共通化によるシナジー効果を発揮するための仕組み作りを着々と進めている。
- ・海外保険事業などの成長分野への積極的な事業展開を進めており、グループとしても個社としても、チャレンジ可能な領域はさらに広がった。
- ・「1プラットフォーム・2ブランド」のビジネスモデルを確立して、それぞれの持続的成長と企業価値の向上を目指していく。
- ・日本興亜損保という歴史のある会社で、これから携わる業務において積極的にチャレンジし、大きなフィールドの中で思う存分活躍し、日本興亜損保のブランドを育てていただきたい。
- ・新入社員の皆さんに期待することは「失敗を恐れないでほしい」「信頼される人になってほしい」「自分のキャリアは自ら意思表示をすることで切り拓いていく」の三点。
- ・当社の「あるべき姿」は、保険事業を通じて社会に貢献し、お客さまに最高の安心とサービスを提供し続けていくことである。
- ・当社が成長するために最も必要なことは、社員一人ひとりの成長であると確信している。
- ・日本興亜損保の社員としての使命感と誇りを持ち、どのような場面においても自らの力を十分に発揮し、思いきりチャレンジしていただきたい。

【ご参考】 2011年度新入社員数 : 224名

【全文】

おはようございます。

先ず、私から皆さんにお話しをする前に、先月に発生しました未曾有の大規模地震の被害に遭われました皆様、ならびに、そのご家族・ご親族・ご友人の皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

当社では、災害対策本部を本社に設置し、コールセンターの増員、被災地への社員派遣等により、事故受付や保険に関するご相談を通じて、一日も早い復興に向けた支援活動を続け、損害保険会社としての社会的使命を果たしてまいり所存です。

改めまして、皆さん。入社おめでとうございます。

日本興亜損保の役職員を代表して、この会場にいらっしゃる皆さんを始めとする全国224名の新入社員の皆さんを心から歓迎するとともに、NKS Jホールディングスの共同CEOとして、皆さんをグループの一員としてお迎えできたことを、大変嬉しく思います。

本日は、社会人としての第一歩を踏み出す、皆さんの人生の記念すべき時です。ご家族を始め、これまで皆さんがお世話になったすべての方々への感謝の気持ちをもって、新たな生活をスタートしていただきたいと思います。

さて、皆さんがご承知の通り、昨年、当社と損害保険ジャパンは、共同持株会社であるNKS Jホールディングスを設立し、経営統合しました。

NKS Jグループが目指しているのは、「徹底したお客さま視点で全ての価値判断を行い、お客さまに最高品質の安心とサービスを提供し、社会に貢献する新たなソリューション・サービスグループ」となることです。

そのためには、グループの社員一人ひとりがお客さま視点で品質向上に取り組み、お客さまの「信頼」を高め、グループの「成長」を支えていき、それが社員に新たな「成長」の機会を与え、お客さまからの「信頼」を確実なものにしていくことが必要です。

この好循環を「『成長』『信頼』No.1」というグループの共通標語に託しました。

当社と損害保険ジャパンは、「1プラットフォーム・2ブランド」のビジネスモデルのもと、この1年間で様々な分野で連携し、システムや事務などの標準化・共通化によるシナジー効果を発揮するための仕組み作りを着々と進めています。また、損害保険事業を核として、海外保険事業などの成長分野への積極的な事業展開を進めており、グループとしても個社としても、チャレンジ可能な領域はさらに広がりました。

両社は、それぞれが約120年という歴史の中で培ってきた強力なブランド力、顧客基盤、販売基盤を最大限に活かし、お互いが切磋琢磨し、「1プラットフォーム・2ブランド」のビジネスモデルを確立して、それぞれの持続的成長と企業価値の向上を目指していきます。

従いまして、皆さんには、日本興亜損保という歴史のある会社で、これから携わる業務において積極的にチャレンジし、大きなフィールドの中で思う存分活躍し、日本興亜損保のブランドを育てていただきたいと思います。

それでは、これから皆さんが日本興亜損保の社員として、NKS Jグループの一員として、そして社会人として成長していくために、私が皆さんに期待することを三点、お話ししておきたいと思います。

この三点は、私が2007年4月に社長に就任以来、毎年新入社員の皆さんにお話ししてきたことであり、私が長い会社生活の中、自分自身の基軸として守り続けてきたことでもあります。

一つ目は、「失敗を恐れないでほしい」ということです。

何か行動を起こせば、つまづくことや失敗することが一度や二度、必ずあるはずですが、しかし、失敗から学ぶこともたくさんあり、その経験は将来必ず役に立ちます。失敗を恐れて何もしない人より、結果が失敗に終わったとしても、自ら行動を起こした人のほうが成長していくものです。

そのような皆さんの前向きな姿勢や行動は、必ず誰かが見てくれていて、フォローしてくれるはずですが、よく部下は上司の背中を見ていると言われますが、上司も部下の背中を見えています。

私は、毎年入社してくる新入社員の皆さんに、「あなた達には失敗する権利がある」と言っています。ですから、皆さんも、若いうちにどんどん失敗し、一つずつ経験を積んでいってください。

失敗することは勇気の裏返しでもあり、決して恥ずかしいことではありません。何事にも好奇心を持ち、当事者意識を持って積極果敢に正面から向かって行ってください。そして、自ら考え、自ら行動することができる人になっていただきたいと思います。

二つ目は、「信頼される人になってほしい」ということです。

そのためには、どんな時でも「ごまかさない」「逃げない」「裏切らない」、この3つの基本動作を実践することです。

私は、その人にどれだけ能力があるかという前に、「どれだけ信頼できるか」ということが優先されるものだと思っています。いくら有能であっても、人を裏切ったり、苦しみを共に分かち合うことのできなかつたりする人には、仕事を任せることはできません。

これから皆さんは、お客さまや代理店さん、一緒に働く上司や先輩など、多くの人々と関わりながら仕事をしていきますが、これらの人々との信頼関係を築いていくことがとても大切です。保険業という社会的公共性の極めて高い仕事に携わる者としても、皆さんには、常に相手への思いやりや尊敬の気持ちを持って、「ごまかさず、逃げず、裏切らず」、何事にも正直に、誠実に、素直な気持ちで取り組んでいただきたいと思います。

三つ目は、「自分のキャリアは自ら意思表示をすることで切り拓いていく」ということです。

自分の考えは勇気をもってはっきりと示すことが大事です。

当社は、社員の役割や立場に関係なく、何でも言える会社です。職場の上司や先輩も、皆さんの意見や考えをしっかりと聞いてくれるはずですが、そのためにも、「自分で考える」「本気で考える」という、人としての大切な基礎力を身につけてください。

また、皆さんは保険会社の社員として、専門的な知識を備え、お客様や市場のニーズを敏感に感じ取り、柔軟に対応することができるプロフェッショナルになっていただきたいと思っています。そのためには、保険の基礎知識はもとより、広く金融全般、また業界以外の様々な

知識や情報も積極的に吸収するという前向きな姿勢で、常に自己研鑽に取り組むことが必要です。

ぜひ、「自ら学ぶ姿勢」を持ち続けてください。そのような社員には、責任ある仕事を任せて、大いに活躍していただくと考えています。

損害保険業界は、昨年から3メガグループ体制となり、新たなステージに突入しましたが、日本経済も世界経済も依然として厳しい状況が続いており、当社も厳しい環境の中で勝ち進んでいかななくてはなりません。そのような時代だからこそ、本来のあるべき姿に立ち返り、新しい発想をもって柔軟に取り組んでいくことが大事だと思います。

私は、日本興亜損保の「あるべき姿」は、保険事業を通じて社会に貢献し、お客さまに最高の安心とサービスを提供し続けていくことであり、この使命と責任を果たすことによって、お客さまからこの世の中になくてはならない存在であると評価され続けることであると思っています。

そして、当社が永続的に発展していくためにも、皆さんのような若い力が必要です。だからこそ、私は常に「社長としてのエネルギーの50%を人材育成に注ぐ」と言い続けてきました。

当社が成長するために最も必要なことは、社員の皆さん一人ひとりの成長であると確信していますし、この想いはこれからも変わることはありません。

皆さんには、日本興亜損保の社員としての使命感と誇りを持ち、どのような場面においても失敗を恐れず、思いきりチャレンジして、自らのキャリアを切り開いていただきたいと思っています。そして、それぞれの職場で、一人ひとりが「主人公」として輝き、活躍することを大いに期待しています。

最後に、皆さんが心身ともに健康で、信頼される立派な社会人として、成長し続けていただくことを祈念し、お祝いの言葉といたします。

以 上

平成二十三年四月一日

取締役社長 兵頭 誠